

<p>第 1 6 3 号</p> <p>令和 3年 4月 1日</p> <p>発行</p>	<p>働く願いを </p> <p>みんなのものに</p>	<p>社会福祉法人 いなりやま福祉会</p> <p>〒387-0021 千曲市稲荷山 2046-1</p> <p>TEL026-272-6645 Fax026-272-6646</p> <p>E-mail:mantennohoshikirakira@ybb.ne.jp</p> <p>HP: <a href="https://inafuku4.jimdofree.com/">https://inafuku4.jimdofree.com/</a></p> <p>発行人 安藤 正幸</p>
---	--	--

## 2021年度スタートしました

3月25日(木)にいなりやま福祉会理事会が開催され、2021年度の事業計画と予算が承認されました。以下議案書からの抜粋です。

新型コロナウイルス感染症により私たちの生活に大きな変化が生まれ、人と人との間に十分な距離を保ち、できるだけ接触を避けることが必須とされる中で、会議や研修のほとんどがリモート、オンライン化となっている今、改めてSDGsへの注目が高まっています。SDGsの「誰一人取り残さない」という理念は、当会に置き換えてみると「友だちがほしい、働きたい、社会参加したい」という今から40年前に共同作業所が発足した時に掲げた想いとも合致します。厳しいコロナ禍においてこそ、地域、地元企業、団体行政などと手を組んでSDGsを道標に、信頼ある法人として地域貢献をしつつ持続的な地域福祉の実現に貢献していきたいと思っております。

### 2021年度いなりやま福祉会各事業所の重点取り組み

#### □就労事業所関係 (満天の星・いなりやま共同作業所)

新規開拓を含めた下請け作業の見直しと、特徴を活かした自主製品の製造、販売の仕組みを考えながら利用者さんの工賃アップに繋げていきます。

長野県 就労 (B) 事業所 270ヶ所 平均工賃月額 15,970円 (令和元年度実績)

満天の星・いなりやま共同作業所 平均工賃月額 14,000円 (令和元年度実績)

#### □生活介護事業 (はなたば・地域活動支援センター)

障がいの重度化、高齢化に備え機能訓練を兼ねた楽しい体力づくりをしていきます。

#### □グループホーム (こんぺいとう・たんぼぼの家・ふっくら)

利用者さんの休日の外出活動や余暇活動の充実を図っていきます。

#### □相談支援事業 (いなりやま福祉会相談支援事業所・千曲坂城障がい者(児)基幹相談支援センター)

関係機関と連携しながら総合的・専門的な相談支援を目指します。

現在、当会事業所を利用している利用者さんの平均年齢は50歳を超えています。グループホームにおいては平均年齢56歳を超えており、利用者さんの年齢が高ければ当然その分、ご家族などの介護者の介護力も低下してきています。一人暮らしの利用者さんもいる中で、所得保障や住まい、社会参加や地域との関係、成年後見や介護保険制度への移行など、サービスの利用継続に関する様々な問題が生じてきています。いなりやま福祉会では、障がいのある人もない人も年齢に関係なく、誰もが地域の中で自分らしく豊かに生活し、働くことや学ぶことができる社会を目指しています。

2021年度の当初予算ですが、事業活動の収入が290,693千円、就労支援事業の方はコロナ禍の影響で仕事が減ってはいますが、前年度同額の18,950千円で編成しました。2021年度は、障害福祉サービスの報酬改定があり、改定率はプラス0.56%とされているが、当会においてはマイナス改定になることが予測されます。事業の安定的・継続的運営に努め、利用者さんの工賃アップ、そして必要な環境整備と支援体制を講じていきたいと思っております。(理事長 安藤正幸)

# 2021年度もよろしくお祈いします

## いなりやま福社会事業所の管理者に今年度の抱負を聞きました

利用者の皆さんは新しい生活様式を強いられながらも、コロナ禍で受注が激減した箱折りなど下請け作業に代わる加工トマトの収穫作業やきのこ関係の作業、ポスティング作業等新規作業を開拓して、成果も上がりました。また、焼き芋販売も大好評で週2日の販売日としました。この状況下で「やればできる!」と自信を持てたことはこれからの大きな励みです。

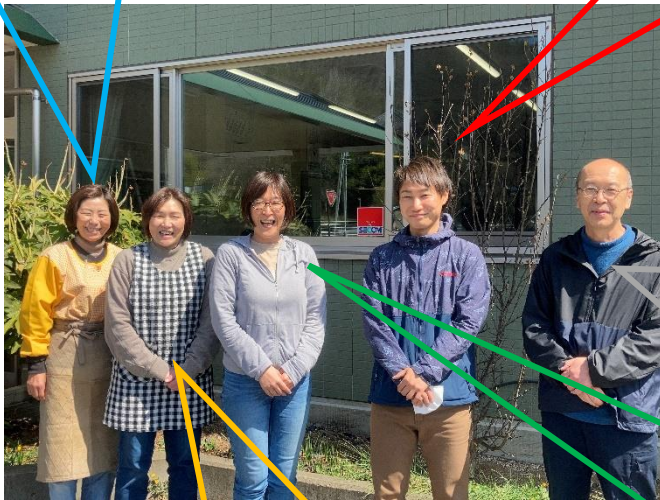
コロナ禍で見えてきた変化を見つめなおしエンパワメントの可能性を信じ、就労を通じて地域で活躍の場を広げられるよう、開所当時の想いを忘れずに努力していきたいと思ひます。

「満天の星」 管理者 緑川美奈孔

昨年度はコロナ禍において利用者さんの仕事、イベント等が激減しました。自分のやりたい仕事ができない。休日楽しみにしていた地域行事等が中止。当たり前にあったことがなくなり、当たり前の大切さに気づかされた日々でもありました。

外部作業で地域にチラシを配ったりしていると、「御苦勞様」「頑張つてね」と町の人たちからも声をかけていただけます。何気ない一言かもしれませんが、地域の方々に支えられていることに気づかされます。そんな繋がりを大切にしながら開かれた作業所でありたいと思ひます。

「いなりやま共同作業所」 管理者 荒井宏之



利用者さんが楽しく、生き甲斐を感じてもらえる事業所、ご家族の皆様にも信頼され、地域の皆様にも愛される事業所を目指し、管理者を中心に職員一同努力してまいりたいと思ひます。

「いなりやま福社会」 理事長 安藤正幸

ホームの利用者さんは地域行事などに参加することをとても楽しみにしていますが、この状況下なので、我慢して買い物や食事等の外出も控えています。楽しみを奪われた感がある中ですが、地域の皆様本当に暖かく見守っていただいていることに感謝しています。今年度は楽しみを増やすことが目標です。

「グループホーム」 管理者 青木恵美

今年度は新型コロナウイルスの影響で利用者さんの活動に大きな弊害が生まれました。「はなたば」の廊下には今までの数々の活動の様子を収めた写真が貼り出されています。どれも満面の笑みの利用者さんが写った写真を見る度に、これが本来の「はなたば」だったのと思ひます。季節感に溢れたちぎり絵など、創作活動にも力を入れています。利用者さん達が一生懸命作り上げた力作の数々を、ご家族の皆様や地域の皆様にご覧いただく機会を作ろうと思ひています。

また、「はなたば」の活動にはボランティア皆さんの役割も重要です。「みんなの福社会、みんなのはなたば」を合言葉に、利用者さん、職員一同頑張つていこうと思ひます。 「はなたば」 管理者 瀬尾晃子



## 各事業所の様子

### 「いなりやま共同作業所」 ～ 保育園製品販売しました ～

毎年、2月に各保育園に出向き販売をさせていただいていましたが、今年度は、コロナウイルスの感染対策のため販売方法を変更し、2月20日から2月28日までの休日に事業所を開所し保育園製品の販売をしました。販売日は、多くのお客様においでいただき、製品の購入をしていただきました。お客様にも感染対策にご協力していただき、混乱もなくスムーズに販売することができました。

昨年10月から各保育園にて製品の説明・注文承りのチラシを配布させていただいたことで、今年は、多くのお客様に早い時期から製品制作のご注文の依頼がありました。多くのお客様にお買い求めいただきありがとうございました。

今年は男の子の製品が多く売れました。  
男の子の人気柄は電車と車、女の子は  
ユニコーン柄でした。



コロナ対策はバッチリ！



いろいろな柄を用意しました。

### 「はなたば」 ～ コロナに負けず、活動に励んでいます！ ～

生活介護事業所「はなたば」では、例年ですと毎月1回外出活動を計画していますが、昨年度は、コロナウイルス感染予防対策の為、全体での外出活動は行えませんでした。日中活動では、外出活動が出来ない代わりに月1回「はなたば」の近隣の飲食店のテイクアウトメニューを注文して、「はなたば」の食堂で食べています。三密にならないように、少人数でカラオケやレクリエーション、制作活動を行っています。今後も、利用者さんの皆さんの活動が有意義なものになるように、皆で工夫して楽しく過ごせるようにしていきます。



豆まきをしたよ



散歩に行きました

### 「満天の星」 ～ 新しい焼き芋の窯がやってきました ～

満天の星では金曜日に焼き芋の販売をさせていただいております。ご好評いただき今年度は火曜日も販売し、週2日の販売にチャレンジしました。そしてこの度「生産活動活性化支援事業補助金」を活用させていただき新しい焼き芋窯を購入することができました。窯の中も広く、サイドには保温庫が付いた優れたものです。現在は旧窯と二台体制で焼いています。4月は火曜日販売を行いませんが、金曜日の販売を4月23日の最終販売日まで続けたいと思います。

2月11日に「窯焼きピザを食べよう」という休日イベントを行いました。普段焼き芋を焼いている窯でピザを焼いて皆で食べました。焼き上がりはととても香ばしく、一味違ったピザが焼き上がりました。一緒に焼いた焼き芋も食べ、皆大満足でした。



## 家族会だより

いなりやま福祉会が結成され40年以上経過します。当時と今とでは家族会の役割や活動内容が変化はしていますが、「会員相互の親睦を図り、協調と連帯をもって事業所及び法人を支援しながら家族及び地域社会を明るくする」と家族会会則に謳われているとおり、誰もが想いは同じです。

家族会の活動について、現在いなりやま福祉会の家族会会長である細尾さんに話を聞いてみました。

Q：いなりやま福祉会の家族会はどんな活動をしていますか・・・

A：いな福まつりや資源回収、地域行事への参加、年末大掃除のお手伝いをさせていただいています。また昨年はできませんでしたが、バス旅行や、きらきらコンサートなどの施設の行事や作業のお手伝いにも行っています。

Q：行事等への参加は大変ではありませんか・・・

A：普段あまり話すことのない家族の方と話しができたり、利用者さんの様子を知ることができたりといつもと違う一面を垣間見ることができ、とても良い機会だと思います。

Q：職員や役員と話す機会はありますか・・・

A：月に一度の「常任委員会」で、家族や福祉会職員との情報交換の会議が行われています。こんなことがあった。こんなことで困っている・・・と、職員さんや家族の皆さんに直接お会いし、意見交換しています。一人でも多くの皆様に参加してほしいと思います。

Q：これからの家族会活動についてお願いします・・・

A：福祉会の事業にはできるだけ協力していきたいと思っています。諸先輩方に学びつつ、お互い家族のことや障がいのことなどで悩みを分かち合い、共感しあえる家族会でありたいと思っています。

## 新入職員の紹介



大村 <sup>かずまさ</sup>一雅さん（相談支援室）

令和3年3月から「はなたば」にある相談室で働いています。趣味はキャンプBBQ、バイクツーリング、おいしい物食べ歩きなどです。早く皆さんの名前を覚えて、たくさんお話しなどしたいと思っていますのでよろしくお願いいたします。（理事長より…豊富な経験を活かして皆の相談に乗ってあげてください。）



小林 <sup>あきな</sup>聖奈さん（満天の星）

1月からいなりやま福祉会でお世話になっております。皆さんにはとても良くして頂き、楽しく勤務しております。好きなことは出掛ける事と美味しい物を食べる事です。これからよろしくお願いいたします。（理事長より…若い新鮮な風を呼び込んでください。）



わたなべ <sup>わたなべ</sup>めぐみさん（事務）

2月から事務員として入職しました。事務室へ声を掛けてくれたり、スイッチの場所をそっと教えてくれたり、利用者さんの優しさを日々感じています。気軽に声をかけてくださいね♪ 早く戦力になればと思っています。よろしくお願いいたします。（理事長より…持ち前の明るさで皆を元気にしてください。）

3月末で退職  
した職員

長沼康之（事務） 藤本栄子（満天の星） 上原一輝（はなたば） 佐藤清美（はなたば）  
寺嶋健司（相談支援室） 柏原美奈子（相談支援室）